

# 衆議院外務委員会ニュース

平成 27.5.8 第 189 回国会第 9 号

5 月 8 日（金）、第 9 回の委員会が開かれました。

## 1 水銀に関する水俣条約の締結について承認を求める件（条約第 4 号）

- ・岸田外務大臣、中山外務副大臣、北村環境副大臣、中根外務大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行い、質疑を終局しました。
- ・採決を行った結果、全会一致をもって承認すべきものと決しました。  
（賛成一自民、民主、維新、公明、共産、生活）

（質疑者及び主な質疑内容）

### 吉 良 州 司君（民主）

- ・日米安全保障協議委員会（2 + 2、2015. 4. 27）及び日米首脳会談（同年 4. 28）並びに岸田外務大臣のキューバ訪問（同年 4. 28～5. 3）の意義とその成果についてどのように考えているのか。
- ・水銀に関する水俣条約（本条約）を締結する意義について政府はどのように考えているのか。
- ・途上国における金採鉱等での水銀の使用削減に向け我が国はどのような貢献策を実施していくつもりか。
- ・戦後 70 年にあたり発出される予定の内閣総理大臣談話に関して安倍総理大臣が「侵略」や「お詫び」といった文言を盛り込むことに否定的であることについて岸田外務大臣はどのように考えているのか。

### 木 内 孝 胤君（維新）

- ・安倍総理大臣が米国議会での演説において、安保法制の成立について期限を区切って表明したことは、国際社会に国際公約と捉えられるのではないか。
- ・本条約の早期締約国になる意義について政府はどのように考えているのか。
- ・本条約の締結に向けた道筋を PM2.5 対策に向けた施策にも活かすことはできないか。

### 田 村 貴 昭君（共産）

- ・本条約に水俣の名を冠した意義と水俣病に対し岸田外務大臣はどのように考えているのか。
- ・多くの水俣病患者が認定されずに裁判を通じて救済を求めている現状に対して政府はどのように受け止めているのか。
- ・今後、水俣病の被害者に対する能う限りの救済をどのように行っていくつもりか。

### 玉 城 デニー君（生活）

- ・本条約が条約発効後の水銀の新たな一次採掘を禁止しているのはなぜか。また、我が国における水銀の一次採掘の現状はどうなっているのか。
- ・本条約の附属書で規定する水銀添加製品の製造、輸出入の禁止や製造工程での水銀等の使用禁止に関する段階的廃止期限について、必要な場合には最大で 10 年間の延長を認める規定を設けた趣旨は何か。
- ・製造等が禁止される水銀添加製品の代替製品に関する我が国における技術開発は現在どのような状況にあるのか。
- ・水銀を用いた零細及び小規模な金採掘等を行っている国における水銀の使用削減に向け本条約ではどのように対応することとしているのか。また、我が国の対応方針はどうなっているのか。